

06

FAQ

- 1 国際日本学全般について
- 2 グローバル・スタディ・プログラム (GSP) について
- 3 グローバル・フィールド・ワークについて
- 4 留学について
- 5 グローバルインターンシップ/グローバルボランティアについて
- 6 イングリッシュ・ハウスについて



1 国際日本学全般について

Q1 国際日本学の履修開始方法を教えてください。履修開始には特別な申し込みなどが必要ですか？

A1 国際日本学修了や履修証明取得、バンチプログラム修了をめざす場合は、千葉大学Moodleによるコース登録が必要です。登録方法は12ページをご参照ください。

1) 国際日本学の修了要件等は入学年度によって異なります。ご自身の入学年度に発行された冊子・手引き「国際日本学」に掲載されている修了要件等に従い、履修してください。

その上で所定の要件等¹⁾を満たすように、本手引き「国際日本学2024」に掲載されている授業科目を履修してください。また、国際日本学に指定されている科目によっては、学生ポータルによる履修登録のほか、事前申込やガイダンスへの参加が必要な場合がありますので『Guidance2024』や各学部等で発行されている履修案内をよくご確認ください。

Q2 どのように履修計画を立てたらいいか、具体的なことがわかりません。

A2 国際日本学は3つの科目区分²⁾から構成されており、それぞれ修得すべき単位数が設定されていますが、科目区分ごとの修得単位数は自由に選択でき、自分に合った形での修了をめざすことができます。

2) 2019年度以前入学者における国際日本学は、4区分で構成されています。

まずは、自分の興味・関心に応じて履修したい科目をリストアップしてみましょう。学部の履修要件に応じて時間割を作成したら、必修科目のっていない時間に積極的に国際日本学の指定科目を履修してください。国際企画課では、国際日本学の履修方法に関する相談を受け付けていますので、お気軽にお越しください。

Q3 国際日本学の指定科目はどの学年からでも履修可能ですか。

A3 履修する科目によって、異なります。履修年次が決められている場合がありますのでご注意ください。詳細は各自『Guidance2024』や各学部等で発行されている履修案内等でご確認ください。

Q4 入学年度により修了等の要件が異なると聞きました。どのように違うのですか。

A4 国際日本学の修了要件は、2015年度以前入学者は48単位、2016年度以降入学者は30単位です。また、2019年度以前入学者は、科目区分が4区分なのに対し、2020年度以降入学者は3区分に変更されています。

詳しくは各自の入学年度に発行された冊子・手引き「国際日本学」を確認してください。また、2024年度より新たにバンチプログラム修了要件が追加になりました。バンチプログラム修了要件については18ページを参照してください。ご自身の修了要件等に不明な点がある場合は、学務部国際企画課にお問い合わせください。

なお、国際日本学に指定される科目は、開講状況により変更される場合がありますので、指定科目は履修年度の冊子・手引き「国際日本学」を確認してください。

Q5 過年度に発行された冊子・手引き「国際日本学」を入手したい場合はどうしたらよいですか。

A5 グローバル・エデュケーションwebサイト (HOME>各種冊子等DL) よりダウンロードが可能です。また、千葉大学Moodle「国際日本学」のコース上にも掲載をしています。入手したい年度の冊子・手引きが掲載されていない場合は、学務部国際企画課へお問い合わせください。

Q6 国際日本学の留学区分の単位を修得するため、第3ターム(夏季休業期間)や第6ターム(春季休業期間)に実施される通期集中科目を履修したいのですが、これらの科目も履修登録の上限単位数に含まれますか。

A6 通期集中科目が単位上限に含まれるかどうかは学部によって考え方が異なりますので、詳しくは所属学部の学務担当窓口を確認してください。なお、上限単位数に含まれる場合は履修登録を行うことはできませんが、授業(プログラム)への参加自体は可能な場合もありますので、詳しくは担当教員に相談してください。

Q7 所属している学部等の卒業要件に入らない単位であっても、国際日本学の単位として認められますか。

A7 はい。国際日本学の指定科目であれば卒業要件とは別に国際日本学の単位として認められます。

Q8 国際日本学の科目はCAP(履修登録上限単位数)に影響されるのでしょうか？

A8 どの科目がCAPに影響されるかは、学部・大学院によって異なります。所属学部・大学院の履修案内等で確認してください。

Q9 大学院に入学したのですが、学部時代にとった単位についても国際日本学の単位として認められますか？

A9 異なる課程（学部と修士等）で修得した国際日本学の単位数を合算できるかどうかについては国際企画課にお問い合わせください。

Q10 大学院生が学部生向けの科目を履修したい場合、特別な手続きが必要ですか。

A10 大学院生が普遍教育科目や学部専門科目を履修するためには、科目等履修生として登録することが必要です。出願方法等については、所属部局の学務担当窓口にお問い合わせください。千葉大学大学院に在学もしくは入学予定の場合は、検定料等は必要ありません。

(参照：https://www.chiba-u.ac.jp/education/non_degree/credit.html)

なお、科目によっては大学院生の履修を認めていない場合がありますので、履修の可否については事前に担当教員等に確認してください。

Q11 国際日本学の修得単位数の状況がよくわかりません。修得単位を管理する方法はありますか？

A11 国際日本学の履修単位数を記録する「国際日本学学習記録記入シート」をご活用ください。グローバル・エデュケーションwebサイト上 (HOME>国際日本学>「履修の流れ」)よりダウンロード可能です。

Q12 国際日本科目「セミナー型・プロジェクト型」区分の科目で海外プログラムに参加しました。この科目を、国際日本学「留学」区分で申請することはできますか。

A12 可能です。国際日本科目「セミナー型・プロジェクト型」区分に設置されている科目のうち、海外の実習を伴う科目については、国際日本学の修了認定および履修証明取得申請の際に「留学」区分として申請することができます。具体的な対象科目については69～71ページを参照してください。

Q13 国際日本学(グローバル・マイナー)における「英語による科目」はどのようにして知ることができますか。

A13 国際日本学(グローバル・マイナー)の対象科目は、指定科目一覧のグローバル・マイナーの欄に「★」と表記されています。2020年度以降入学者が国際日本

3) 2016年度以降～2019年度以前入学者は、「ゲートウェイ」区分を英語による科目のみで履修する必要があります。

4) 2016年度以降～2019年度以前入学者は、「イングリッシュコミュニケーション」区分、「留学」区分、「国際体験」区分の指定科目全てが国際日本学(グローバル・マイナー)の対象となります。

学(グローバル・マイナー)を修了したい場合、「国際日本科目」区分³⁾を英語による科目のみで履修する必要があります。なお、「英語」区分、「留学」区分⁴⁾は国際日本学の指定科目全てが国際日本学(グローバル・マイナー)の対象となります。

Q14 全学副専攻プログラム 国際日本学の修了をめざしたいのですが、30単位の修得が難しい場合、途中から履修証明の取得に変更することはできますか。

A14 可能です。国際日本学を修了する場合も履修証明を取得する場合もMoodleの登録コースは同じですので、コース変更等の手続きもありません。

Q15 全学副専攻プログラム 国際日本学修了認定や履修証明の認定は、すでにバンチプログラム 国際日本学を修了した学生でなければ、申請できない仕組みですか。

A15 いいえ。国際日本学指定科目の修得単位数は自由に選択でき、自分にあった形で全学副専攻プログラム 国際日本学修了などをめざすことができます。バンチプログラム 国際日本学を修了していなくても、所定の要件を満たしていれば、全学副専攻プログラムとしての国際日本学修了認定や履修証明の申請が可能です。

Q16 国際日本学の修了認定等の取得申請時期を教えてください。

A16 国際日本学の修了認定等申請期間は12月初旬～12月下旬までのおおよそ1か月の間です(前期は7月初旬～7月下旬)。グローバル・エデュケーションwebサイト上等で周知しますので、各自ご確認ください。

Q17 国際日本学または国際日本学(グローバル・マイナー)の修了や履修証明・バンチプログラム修了を証明するオープンバッジは、卒業・修了時にしか申請／取得することができませんか。

A17 申請／取得可能なタイミングは、認定を希望する要件の種類によって異なります。以下を参考にしてください。

◆国際日本学・国際日本学(グローバル・マイナー)修了を証明するオープンバッジ⇒卒業・修了時に認定申請／取得ができます。

◆履修証明としてのオープンバッジ⇒どの学年でも申請／取得可能です。

◆バンチプログラム修了のオープンバッジ

⇒学部生であればどの学年でも申請／取得可能です。

いずれの場合も、申請内容の審査などに時間を要するため、申請からオープンバッジ発行まで数か月かかります。

Q18 過去に修了／履修証明を取得した先輩方の履修履歴を参考にしたいです。先輩方の履修例はどこで見ることができますか。

A18 先輩方の履修例はこちらからご覧ください。

<https://global-education.chiba-u.jp/course/step/>

また、学務部国際企画課の窓口でもご参照いただけますので、お気軽にお越しください。

また、過去に修了した先輩方のインタビューを掲載しています。以下のリンクにアクセスし参考にしてください。

<https://global-education.chiba-u.jp/course/graduates/>

2 グローバル・スタディ・プログラム (GSP) について

Q19 海外に行ったことがない、あるいは学部の1年生でも、このプログラムに参加しても大丈夫でしょうか？

A19 グローバル・スタディ・プログラム (GSP) は、海外未経験や専門知識を持たない学生も含め、誰でも参加できるように作られている普遍教育科目の授業です。海外未経験の学生も、新入生の履修者も毎年必ずいます。学習意欲と好奇心があれば参加可能です。

Q20 グローバル・スタディ・プログラム (GSP) と語学研修や文化体験等の留学プログラムとの違いを教えてください。

A20 グローバル・スタディ・プログラム (GSP) は「英語を学ぶ」プログラムではなく、特定のテーマについて協定校の学生と協働で「英語で学ぶ」授業であり、語学学習や文化体験を中心的な目的に据えていません。もちろん、この授業を受講

した結果として語学の習得や相手国の文化を知る機会があることは言うまでもありません。

Q21 現在大学院1年生ですが、グローバル・スタディ・プログラム(GSP)を受講できますか。

5) 科目等履修生の出願については、Q10を参照してください。

A21 できます。科目等履修生⁵⁾の登録を必ず行ってください。なお、出願期間等については、各自ご確認ください。

Q22 日本国籍を持っていないのですが、グローバル・スタディ・プログラム(GSP)に参加することは可能でしょうか？

A22 千葉大学で行うグローバル・スタディ・プログラム(GSP)の場合は国籍を問わず参加できます。ただし、海外協定校で実施されるグローバル・スタディ・プログラム(GSP)の場合は、本学に在籍している学生でかつ滞在国のビザを取得できる方が対象となります。

Q23 奨学金の対象者はどのように決まるのでしょうか？

参加希望アンケート、インタビュー、そしてオリエンテーションの際に参加希望者の英語力・学習動機が判断され、対象者が決まります。なお、毎年の奨学金の数が限られているので、グローバル・スタディ・プログラム(GSP)に参加したい方は早めに各科目の担当者にご連絡ください。留学生は奨学金支給の対象にはなりません。ただし、永住権を持っている外国籍の学生は支給の対象になります。

Q24 千葉大学で実施されるグローバル・スタディ・プログラム(GSP)では千葉大生に奨学金が支給されるのでしょうか？

A24 千葉大学で実施される場合には、奨学金は海外協定校からの留学生には支給されますが、千葉大生は対象外です。

Q25 グローバル・スタディ・プログラム(GSP)の詳細はどうなっているか教えてください。

A25 本科目の登録方法については、国際教育センター(CIE)が実施する「授業ガイダンス」で説明します。ガイダンス日程を含む詳細については、グローバル・エデュケーションwebサイトをご確認下さい。

3 グローバル・フィールド・ワークについて

6)「グローバル・フィールド・ワーク」は授業科目名称、「BOOT」とは本科目の一環として実施している短期留学プログラムの通称です。

Q26 「グローバル・フィールド・ワーク」の授業では、どのような留学プログラムを実施していますか。

A26 「グローバル・フィールド・ワーク」のうち、BOOTプログラムは、アジアの協定校を派遣先として、第3ターム(夏季休業中)及び第6ターム(春季休業中)に2週間程度の短期留学を実施しています。⁶⁾

Q27 Begin One's Oversea Trial (BOOT)の募集時期はいつ頃ですか。

A27 夏季プログラムについては4～5月頃、春季プログラムについては10～11月頃に参加者の募集を行う予定です。

Q28 BOOTのプログラム内容や履修方法についての詳細は、どこで知ることができますか。

7)千葉大学留学生課留学支援室ホームページ:
<https://www.ryugaku.chiba-u.jp>

A28 募集要項等にて詳しいプログラム内容をご案内します。なお、募集要項はMoodleで公開後、全学掲示板や千葉大学留学生課留学支援室ホームページ⁷⁾を通して周知する予定です。

Q29 BOOTプログラムの参加費はどのくらいですか。

A29 具体的な参加費については、募集要項等でご案内する予定です。

4 留学について

Q30 留学プログラムの申込方法を教えてください。

A30 国際日本学の「留学」科目群として指定されている留学プログラムについては、各プログラムが開催する説明会等に参加して詳細を把握してください。また、海外派遣留学プログラム(留学期間は1学期、または1学年度)については70ページ協定校への交換留学「海外派遣留学プログラム」を参照ください。

Q31 留学生ですが、留学を申し込むことは可能ですか?

A31 まずは、そのプログラムを実施している学内の担当者にお問い合わせください。

Q32 留学先で修得した単位のうち、4単位が千葉大学の単位として認定されましたが、国際日本学への認定の仕組みについて教えてください。

A32 留学先で修得した単位のうち、単位互換認定申請により国際日本学指定科目で認められた場合、国際日本学の単位として認定されます。その際、留学で修得した単位が「国際日本科目」区分や「英語」区分に指定されている場合でも、「留学」区分として申請が可能となる場合があります。詳しくは、国際企画課にお問い合わせください。

5 グローバルインターンシップ／グローバルボランティアについて

Q33 昨年度のTOEICスコアは、グローバルインターンシップの参加条件として認められますか？

A33 認められます。ただし、プログラムによって求められるスコアが異なります。

Q34 1年生ですが、グローバルインターンシップの海外プログラムに参加できますか？

A34 参加できません。原則として、グローバルインターンシップは2年生以上の方が対象となっています。ただし、春季休業中に実施するプログラムについては1年生でも参加が可能です。大学院生も必要な手続きを行うことで参加が可能です。なお、グローバルボランティアは1年生からでも参加が可能です。

Q35 留学生ですが、グローバルインターンシップ／ボランティアに参加できますか？

A35 留学生も参加できます。ただし、派遣先によっては十分な日本語能力が求められることをご了承ください。ビザ取得については自身で手配する必要があります。

Q36 グローバルインターンシップ／ボランティアへの申込方法を教えてください。

A36 各ガイダンスや説明会にて募集要項を入手できます。募集要項で応募に必要な書類や手順を確認してください。ガイダンス開催後はグローバル・エデュケーションwebサイトで募集要項を入手することができます。申込時に学生ポータルによる履修登録を行う必要はありません。

Q37 グローバルボランティアに申し込んだ場合、必ず希望したプログラムに参加することができますか。

A37 いいえ。グローバルボランティアは、プログラムによっては募集人数に上限がある場合や若干名しか募集しない場合があります。

エントリーシート提出後、担当教員による選考を行いますので、選考に通らなかった場合はプログラムに参加することはできません。

なお、グローバルボランティアには、海外プログラムと国内プログラムがありますが、海外プログラムについては数名程度しか受け入れないものが多いため、詳細はガイダンス等で確認してください。

Q38 事前学習が行われる時間帯を教えてください。

A38 シラバスで確認してください。またガイダンスでも詳細を説明しますので履修を希望される方はできるだけガイダンスに参加してください。

Q39 グローバルボランティアに興味があります。履修方法と費用について教えてください。

A39 グローバルボランティアの履修には、「グローバルボランティア事前学習」(第2ターム開講)を履修していただく必要があります。詳細は、本手引き52ページをご参照ください。

また、本科目は事後学習、成果報告と50時間相当の活動で単位認定されます。学期中のプログラムと休業期間を利用したプログラムがありますが、学生ポータルでの登録は行わず、担当教員の指示に従って履修してください。

費用については、プログラムの渡航先によって異なりますので募集要項等で確認してください。また、学外の団体が主催するボランティアプログラムについては、ガイダンスにて各団体の担当者が直接プログラム説明を行います。プログラムによって申し込みの手続きが異なりますので、興味のある人は必ずガイダンスに出席するか資料等で確認してください。

なお、グローバルボランティアに関連する授業は2024年度は非開講です。2025年度以降実施を予定しています。

Q40 グローバルボランティアⅠ、Ⅱ、Ⅲの違いを教えてください。

A40 「グローバルボランティアⅠ」では、国内外において初めてボランティアに参加

する学生向けに、初歩的なプログラムを提供します。「グローバルボランティアII」では、「グローバルボランティアI」を既に履修した学生、ボランティアの経験やそのフィールドに対する一定の知識を持った学生向けに現地集合・現地解散のできる海外プログラムを提供します。「グローバルボランティアIII」には、自らでプログラムを開拓するなど、高度なプログラムが該当します。「グローバルボランティアII」と「グローバルボランティアIII」に該当するプログラムに参加希望の学生は、担当教員ならびに協力団体が面接を行い、適性を判断します。

Q41 一覧にはないインターンシップやボランティア活動に参加しました。これはグローバルインターンシップ／グローバルボランティアとして認められますか？

A41 グローバルインターンシップ／ボランティアは事前学習・事後学習及び50時間相当の活動に従事する必要があります。また、そのインターンシップ／ボランティアの活動内容が科目の趣旨に合うものかどうかは担当教員が判断します。これについては活動する前に担当教員に相談してください。

6 イングリッシュ・ハウスについて

Q42 イングリッシュ・ハウスは誰でも利用できますか？

A42 千葉大生及び教職員でしたら、誰でもご利用いただけます。
(イングリッシュ・ハウスのご案内については、78～79ページをご覧ください。)

Q43 イングリッシュ・ハウスの利用方法を教えてください。

A43 スタッフが常駐しています。
皆様のご希望をお伺いしてから、各活動や参加方法について具体的にご案内しますので、お気軽にお越しください。⁸⁾

Q44 英語にあまり自信がないのですが、利用できますか？

A44 もちろんです。利用者の中には、英語初級者の方も多くいらっしゃいますので、どのレベルの方でも安心してご利用いただけます。

8) イングリッシュ・ハウスお問い合わせ先

電話：043-290-3987

Email : english-house@chiba-u.jp

公式Webページ : <https://www.chiba-u.ac.jp/englishhouse/>

facebook : Chiba University English

House

Instagram : englishhousechiba

Twitter @EnglishHouse_CU